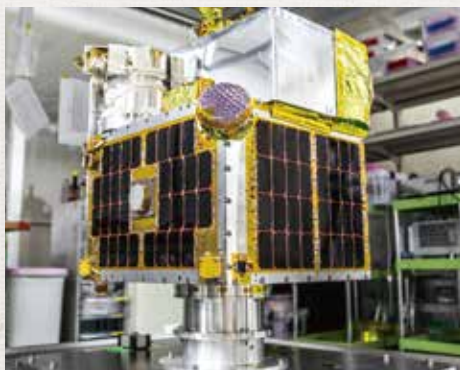


エール  
株式会社ALE 代表取締役社長

おか じま れ な  
岡島 礼奈 さん

鳥取市出身。東京大学大学院修了、外資系投資銀行勤務を経て2011(平成23)年、人工流れ星プロジェクトに取り組む「ALE」を起業した。19(同31)年1月、JAXAの小型ロケットに人工衛星を搭載し、打ち上げに成功。今後、広島・瀬戸内上空で人工流れ星の実験を目指す。



人工流れ星となる直径約1センチの金属球を含む粒(流星源)を放出する超小型人工衛星。流星源が落下する際に出る熱で光らせる(画像提供=(株)ALE)



### 流れ星を作ろうと思ったのは

2001(平成13)年、国内でも話題になった「しし座流星群」を見て、流れ星のもとちりは塵だから人工的に作るができると思いました。さらに翌年、鳥取砂丘で流星群を見て、やはりこれは好きな時に見たい、だったら作ろうと。こうした発想は天文学の研究者なら思い付くもの、私が一番に成功させようと強く思いました。

### 大学卒業後、なぜ投資銀行に

人工流れ星への思いは持ち続けていましたが、研究には資金が必要です。安定した資金調達を学ぶために就職先として選びました。リーマンショックの影響で09(同21)年に退職しましたが、起業した時に最初に応援してくれたのが当時の同僚でした。

## 夜空描く夢、果敢に挑戦

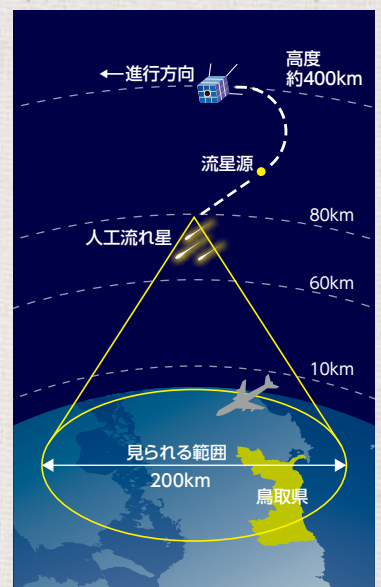
～流れ星作る不屈の研究～

### 起業後はどんな苦勞を

宇宙航空研究開発機構ジャクサ(JAXA)の小型ロケット「イプシロン」4号機への搭載枠獲得は困難の極み。何しろ世界初となる人工流れ星衛星の搭載、安全性や技術力を証明し続けることで、JAXA内にも応援してくださる仲間が増え、採択を勝ち取りました。

### 実験ではどんな流れ星を

人工ならではの演出として、色とりどりの人工流れ星を流します。宇宙では地上と違う色に発色するので、素材の配合も研究中。人工流れ星を見た子どもたちが胸をときめかせ、宇宙への好奇心が芽生えることを期待します。



人工衛星がオーストラリア(またはアラスカ)上空に来た時に、流星源を放出すると、中国地方の上空60~80kmで3~10秒発光する(イラスト監修=(株)ALE)